

公表	放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表
----	--------------------------

○事業所名	児童発達支援センターらいむの丘			
○保護者評価実施期間	R7年 10月 14日		～	R7年 11月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	155	(回答者数)	28
○従業者評価実施期間	R7年 10月 1日		～	R7年 11月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	21
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の内容を子どもに合わせて変化させている。	振り返り等を行う中で職員間で案を出し合い、それぞれに合わせた活動を行っている。 専門職も活動に参加している。	子どもに合わせた活動かつ、興味を持って取り組める活動を行なっていけるよう務める。
2	伝達時に保護者と家庭や学校での様子を話す機会を設けている。	職員が話すのみではなく、保護者の思いや話を丁寧に聞くことを心がけている。	ゆっくりと話す時間を設けることが難しいこともあるため、必要があれば個別に話をする時間を設ける。
3	利用児が活動しやすい環境作りを意識している	利用児に合わせて、視覚的な支援や声掛けなどの関わり方を振り返り、次回の活動に活かすようにしている	利用児の発達の特性を理解する学習を実施しつつ、対応などの経験値を増やしていけるよう務める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員人数が足りず、訓練の回数が減少してしまったり、伝達の際に保護者と子どもの姿をじっくりと話す時間を設けられないことがある。	職員の人数が足りない。	人事異動や採用を行う等、組織として人員確保を行っていく。
2	放課後デイサービスを利用いただいている保護者間同士の交流や情報交換を行う機会が少ない	機会と場が提供することが難しい。職員の人数が足りていない。	職員の増員と保護者同士の交流する場の機会やそれに伴うPR活動(保護者研修会など)を引き続き実施していく。 保護者研修会への参加を声掛けしていく。
3	放課後デイサービスでの避難訓練の機会が少ない。	職員配置と計画不足。	事前に実施できるよう年間計画の段階から考慮する。 活動内容に避難訓練を盛り込むなど機会を増やす。